

世界史研究推進委員会

共同研究「高大連携の試み」および「世界史への興味・関心を育む教材・指導法の研究」経過報告

寒川高校 根岸 洋史

2013年度も世界史研究推進委員会は、おおむね二か月に一回のペースで、藤沢総合高校などを会場に委員会を開催しました。会場を御提供いただいた関係各位の皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また昨年度は、2013年7月31日より8月2日の日程で全国歴史教育研究協議会第54回研究大会（神奈川大会）がワークピア横浜を会場に開催されました。

ご多忙の折ご参加くださいました諸先生方、ワークピア関係者の皆様、また運営スタッフにあられた先生方にも、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

なお2013年度の研究発表は、次の通りでした。

全歴研神奈川大会大会（2013年7月31日 ワークピア横浜）

第4分科会 「近代世界システム論をどう授業に取り込むか」

「近代世界システムの成立」

鈴木健司（七里ヶ浜高等学校）

「近代世界システムの展開」

福本 淳（栄光学園中学校・高等学校）

第5分科会 「中央ユーラシアをどう教えるか」

「古代ユーラシアの遊牧帝国と人・モノ」

神田基成（鎌倉学園中学校・高等学校）

「祇教はどのように伝わったか

—生徒に中世のネットワークを知ってもらうために—

柴 泰登（桐蔭学園高等学校）

春季研究大会（2014年3月7日 かながわ県民センター）

「アジア史を世界史でどう教えるか」

石橋 功（藤沢総合高等学校）

また、昨年度は全歴研神奈川大会の開催が同時期となったため休止とさせていただきました夏季恒例の「高大連携の試み」ですが、2014年度は鎌倉学園高校を会場に8月11日（月）～13日（水）の日程で開催の予定です。

さて県立高校では教員の世代交代の時期が訪れ、新採用の先生方の姿を数多くお見かけするようになりました。新人の先生方は校務多忙であるのはわかりますが、そこはぜひ社会科部会主催の研究大会、セミナー、各種委員会へ積極的に参加してください。加えてベテランの先生方にも引き続き歴史分科会と本委員会のご指導をお願いいたします。